

< 発行者 >

航空安全推進連絡会議 03-3742-9359

航空労組連絡会 03-3742-3251

日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770

http://www.kohkuren.org/

ソラシドは組合
差別をするな!
KLMは無期雇用
転換逃れするな!

フェニックス

PHOENIX

頑張る社員の生活を直撃 ANA 諸要求に改善示す

大企業を中心に好調な上期決算が伝えられるなか、航空ではエンジントラブルや自然災害などの影響があったものの、全日空・日本航空の上期決算は、両社共に増収となりました。

全日空の上期売り上げは前年同月比530億円増の1兆380億円。営業利益は1052億円を上げ、通期では売り上げは2兆400億円、営業利益は1650億円を見通しています。日本航空は破綻以降で最高の750億円を売り上げ、営業利益は968億円でした。通期見通しは売り上げを上方修正し330億円増、勤務や働き方



混雑する羽田空港。2020年には発着回数が3.9万回増に

18年度の一時金回答状況

	夏季一時金回答	年末一時金回答
ANA (※1)	2.1カ月	2.1カ月
JAL (※2)	2.0カ月	2.0カ月
JGS (※3)	2.0カ月	2.0カ月
ユナイテッド航空	年間6カ月	
デルタ航空	年間5カ月	
英国航空	年間6カ月	
NAFCO	2.7カ月+38900円	2.75カ月+44250円

※1 業績目標達成時、期末一時金（最大2カ月）+α。7月支給
※2 業績目標達成時、期末一時金（1.6カ月）。6月支給予定
※3 JGSグループ各社同回答。期末賞与JALと同様

2018 年末闘争

好業績の各社 年末一時金

JAL 大幅ダウン

「検討」

回答は早急に実現を

JALでは、日航乗組がデットヘッド時のクラス変更回答、予防接種の一部費用負担、制服関係の改善、訓練生の訓練環境の改善に向け会社に置かれた環境を認識させました。日航キャビンクルーユニオン（CCU）では機内清掃の一部委託化、クルーミール見直し、経験者採用の開始など要求が前進しました。機内炊飯、ドア数に満たない編成は検討課題。安全面でも数項目で検討項目が示され、深夜免除制利用者の雇用にむかかわる新制度（短日数制度）は持ち帰り検討となり、その後の対応が

注目されます。日航ユニオン（JLU）では諸要求の具体的な回答には至っていませんが、屋外作業手当、暖房手当、AFRS手当、単身赴任手当・制度の見直しなどの追及に会社は「今必要なものが人ごとと考える」と答えています。

解雇争議では、これまで7回の特別協議が行われ、希望退職者や特別早期退職者、被解雇者が応募できる新制度やLCC募集が説明されましたが、解決金は支払う考へがないに留まっています。11月14日に開催された経営協議では、組合の「整理解雇の全面解

決という思いを労使で共有して、何ができるか考えていきたい」との主張に、赤坂社長は「全く同感です」と応えました。JGSグループ各社組は、高齢者雇用やパートナリ社員等の統一要求について引き続き改善に努めるとの回答にとまりました。JGS労組では配車関係で運用面で前進回答を引き出しました。外航労組は本社要請や本国労組との連携強化を進め、労働環境改善に取り組んでいます。一方で新たな「合理化」問題が報告されており、雇用問題に発展しないよう、予想される事態への準備、

ざしました。経営側は業績連動の期末手当を含めた3分割方式に固執し、2・0カ月の引上げには答應しません。前年比0・7カ月引き下げた年末一時金は社員生活を直撃。大きな不満を蓄積させています。全日空は春闘で年間回答をっており年末一時金は2・1カ月ですが、年間利益目標達成時には期末分を含め年間6カ月+αになりました。新経緯陣との本格交渉となったJAS新労組は1・4カ月（昨年末1・35カ月）の回答を引き出しました。NFCO労組は2・75カ月+44250万

円の回答を引き出し年間5・45カ月+833250円になりました。諸要求では、全日空乗組は副操縦士の育成環境や海外ステイ時の安心・安全の確保、勤務、出向問題、経営監視などの改善を求めました。出向問題は手首の改善を求め

ましたが改善には至っていません。海外ステイ関係ではインド線で改善が示されました。勤務関係では機種の運航特性を踏まえた取り扱いで一歩踏み出しています。経営監視では戦略策定部署との意見交換の開始、副操縦士の育成環境は前進回答

がありました。ANA乗組（APU、旧エアニッポン乗組）では、機材品質、人員配置、勤務環境、離着陸手当について交渉を行い会社の考え方が示されました。離着陸手当の具体的な回答はありませんでした。

■主な記事から■

- ▶ CAの雇用と権利を守るために運動するJCU。ソラシド不当労働行為は和解協議、KLM無期転換逃れで会社のごまかしが判明 2面
- ▶ 外国人労働者の受け入れ拡大に向け国会審議始まる。問題点を考える 2面
- ▶ JAL争議一争議解決に向け全国の闘う仲間と連携 3面
- ▶ ITF世界大会第2弾-TG労組が17年越しで本社労組と会談。今後の礎築 3面
- ▶ エミレーツ航空争議を支える会が第3回総会開催。中労委での勝利命令必す 4面

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail/honbu@kohkuren.org

2018年も
ひと月あり。
1年を振り返り
ます。北陸地方
の豪雪、西日本
を襲った大雨災害、台湾
による開港港浸水。異
常気象による災害は全世界に発生し、地球温暖化への懸念を深めさせました。日航メイト部の悪質タックルなど、日本スポーツ界の不祥事も次々と明らかになりました。一方、平昌五輪は

その後の南北首脳会談、初の米朝首脳会談につながる朝鮮半島の緊張緩和をもたらし、平和に貢献するスポーツの可能性を体現しました。かつての米中接近はトランプ外交と呼ばれました。日本企業への信頼は失墜させた不祥事も相次ぎました。スバルの検査不正、スルガ銀行の不正融資、KYBの免振・耐震データ改ざん等々。極めては日産会長が企業私物化と巨額不正操作「企業フーリスト」はパワハラや未払い残業などの源泉でもあります。●国会が会期を延長しまで成立させたのがカジノ法や時間規制をなくす「働かせ方」関連法。今後は安い労働力を使い、いど外国人労働者の就労拡大。森友・加計学園の真相解明は置き去りにされたままです。●安倍首相は、新たな話題を次々と提供することで目先を奪い、失政を誤魔化してきました。しかしそれも限界。来年は統一地方選と参院選の年。悪政を変える年にしたい。



入管法改正質疑で質問を聞く山下法務大臣



政府は人手不足対策として外国人の在留資格を拡大する法案を今臨時国会に提出。来年4月の施行をめざしています。対

外国人就労拡大を考える

象徴には航空も含まれていて、外国人の在留資格を拡大する法案を今臨時国会に提出。来年4月の施行をめざしています。対

「検討中」を繰り返して。改正法案はわ

第9では、国際人権基準に適合した出入国在留管理行政の実現を求めています。

JCU

CAの雇用・権利擁護に奮闘



団交を前に打ち合わせをするJCU執行部と組合員のみなさん。11月26日

客室乗務員が一人で加入できる労働組合として、客室乗務員の雇用や労働条件向上をめざすジャパン・キャビンクルー・ユニオン(JCU)。

組合からは話し合いによる解決に応じることを伝え、一度評価が下がる

職場復帰求め提訴準備

KLMオランダ航空は日本人客室乗務員を契約

第9では、国際人権基準に適合した出入国在留管理行政の実現を求めています。

都労委が和解案を提示

ソラシド不当労働行為事件

内容をもつて提示しませんでした。さらに、公益委員からの具体的和解案

KLM無期転換逃れ

回答書のウソあばかれる

年末恒例 餅つき大交流会のご案内

成田地区

と き：12月22日(土) 10:00~15:00
ところ：成田市赤坂公園(ボンバルタ前)
成田ニュータウン内

参加費：500円
主 催：成田地連

羽田地区

と き：12月22日(土) 11:00~15:00
ところ：フェニックスビルガレージ
参加費：500円(家族参加1000円)
主 催：フォーラム羽田

お問い合わせ先：航空連事務局
03-3742-3251

争議解決に向け全国の闘う仲間と連携



CAD争議原告（右から2人目、3人目）とJAL争議原告

争議を解決するに闘う仲間との連携強化が大切です。JAL争議団は全国の闘う仲間と連携し闘いを進めています。11月に争議団が参加した2つの争議を紹介します。

◇ 解雇争議に勝利し職場復帰を勝ち取った公共一般東京都団交拒否CAD解雇事件。勝利報告集会が11月15日都内で開かれ、JAL解雇争議団から4名が参加しました。

この争議は都立職業能力開発センター（職業訓練所）4校にあったコンピュータによる図面作成技術を学ぶCAD製図科が2014年10月に民間委託され廃科、公共一般労組委員長ら講師（非常勤）が解雇された事件です。今年の9月27日に東京都地方労働委員会と原告3名は講師として職場復帰しました。

集会では、ソフノ歌手・八重樫節子さんの歌唱や南部合唱団の合唱、仲間が持ち寄った手作りの料理が集会を盛り上げました。

JAL解雇争議



明治乳業争議デモに参加したJAL争議原告

明治乳業で働く労働者が人間の尊厳を取り戻すべく、長期にわたり、昇進昇格差別撤回を求める闘いが行われています。11月19日、明治乳業争議団を支援するデモ行進と本社前宣伝行動が取り組まれ、64団体・140名が参加しました。JAL争議団から10名が参加しました。

明治乳業での闘いは1960年代に始まりました。会社はものをいう労働者を敵視し、社員を



私鉄のうたごえ祭典で合唱するJAL争議原告

合唱団フェニックス

JAL争議原告で結成した「JAL原告団合唱団フェニックス」は11月18日に開催された「2018私鉄のうたごえ祭典（副題）支え続けてこまでも」に参加し、闘う仲間、働く仲間と一緒に

会場いっぱいには歌声を響かせました。スクラムの舞台からは「非正規差別をなくせ！メトロコマース契約社員闘いのうた」も取り残さず、JAL争議解決に向けた「粘り強く」として紹介がありました。

来年1月19日には70周年記念の「日本のうたごえ祭典」が川崎市で開かれます。代表呼びかけ人は映画監督の山田洋次さん、スペシャルアドバイザーは作曲家の池田一朗さんです。

年記念の「日本のうたごえ祭典」が川崎市で開かれます。代表呼びかけ人は映画監督の山田洋次さん、スペシャルアドバイザーは作曲家の池田一朗さんです。

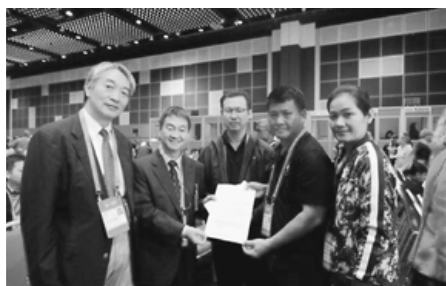
70周年を記念した「日本のうたごえ祭典」には合唱団フェニックスをはじめ全国の合唱団が参加します。祭典は2つの音楽会で構成されており、1つは「Human Being」のうたをうたう（12:30開演）うたごえ祭典（うたごえ）をうたう。闘う仲間と共に、労働者の決意と未来を歌い上げます。全米アカペラチャレオンや世界各地から集まった女性シンガーからなる国際的ボーカルグループも出演します。皆様の参加をお待ちしています。

チケット購入、お問い合わせ先「JAL争議原告団事務局」

03-5705-1571

TG労組 17年越し本社労組と会談

参加労組との意見交換 今後の活動の糧に



タイ本社労組委員長の親書を手に記念写真。左から高書記長、遠矢委員長、本社労組ブラシット・ルンパチラ執行委員、ソムサック・モノップ専従役員、ナッシニー・ピティボンピトン執行委員

ITF第44回世界大会

第2弾
ITFの会議に参加

新技術への対応急務

ITF世界大会には航空連からフェデックス（FX）労組・タイ国際航空（TG）労組・朝日航空（AH）労組の代表も参加しました。成果を聞ききました。

海外航空会社で働く労働者にとって本国の経営者による影響を行使できるかは、雇用面や労働条件などから重要課題のひとつです。フェデックス労組の赤坂委員長（航空連副議長）はこれまでに何度かITFの会議に参加

した経験があります。

「この4年間のITFの取り組みを振り返ると、妊娠退職や自由恋愛禁止など女性の権利問題をかかるとカタル航空に対するカタル航空ペン、トルコのDHLで起きた組合員組合員に対する活動の制限に対するDHLキャンペーンで大きな成果がありました。カタル航空は差別別的な事項を削除する協約を締結し、DHL本社は労働組合排除を行わないとの協定を結びました。」

その後、トルコでは労働者300名の組織化に成功しました。今後も油断せず、活動を進める必要があります。活動を進める必要があり、5年ほど前からクルバルデリバリーネットワーク・ミーティングに参加しており、発展に向けた再構築を関係労組と確認できました。

タイ国際航空労組からは遠矢委員長と高書記長が参加しました。高書記長は参加の目的と成果を語りました。

「タイ国際航空日本支社労働組合は、17年越しの課題の入口にたどり着くことができました。本労組との公式な会談を通じた意見交換と、将来に向けた連携の礎を築くことができましたのは、大きな成果です。2001年夏に当時のタイ本国の労組委員長と意見交換をす

る準備をしていましたが、9・11テロの発生によりすべてが延期となりました。今回ITFタイの協力も得て、タイ本社労組と2度の会談を持ち、現地の認識や、世界各國に分散する労組との連携に向け、ようやく第一歩を踏み出したところ。会議全体を通して、カタル航空、エミレーツ航空、ライオンエアなどの急成長の陰に大変な労働者への負担が強いとされていること、日本における外航各社が今後直面していること、ITFのA1化による労働環境の変化の兆候を垣間見ることができました。」

産業航空からは朝日航空労組の岡本委員長と渡邊副委員長が参加しました。「朝日航空の他に、リコファア会社の参加は確認できなかったが、航空空やみ海運・鉄道などの異業種の方々と意見交換することができ、日本ではあまり馴染みのない国からも多くの参加があり、世界大会の活気が肌で感じられました。今後の組合活動において解決困難な問題に直面した際、国際社会に訴えることも選択肢に加えられることを期待しています。」

国際的な連携・連携を確認した各労組。一方で、新技術（自動化）に向けた対応も早急に取り組むべき課題も明らかになりました。



エミレーツ航空CAにアピール。成田空港にて（11月27日）

懸念される労働分配率低下

働く
ホットライン

☎080-4660-8237

内部留保をはき出し賃上げを

落が続いた。本年度は66・23%でバブル期にも及ばず、43年ぶりの低さ。蓄えを指す「内部留保」や業績が高水準でも、利益をため込む企業の姿勢に変化は見られない。政府の賃上げ要請も響かず、デフレ脱却の鍵を握る個人消費の活性化がほぼつかない構図を表している。労働力配率は企業が原材料を仕入れ、より高値で売ることなどで生じる「付加価値」から、賃金や福利厚生費に充てた割合を示す。金融・保険業を除く統計では、リーマン・ショックの起きた08年度に近づくものの74・7%に達した後、ほぼ一旦して下落。1974年度(66・1%)以下に営業利益は08年度

来の低水準だった。企業は通算、賃金体系の激変を避けるため、労働分配率は好景気の時に下がり、不況時ほど上がりやすい。分析には物価動向や賃金額そのものを考慮する必要もある。だが、バブル期すら下回ることに対し、ニッセイ基礎研究所の斎藤太郎経済調査室長は「企業にとって賃金を上げる余地が十分にあることを示す」と指摘。経営側の人件費抑制姿勢に加え「労働者側もデフレマインドが根強く、かつては賃上げを要求しないことが原因だ」と話す。17年度の企業の内部留保は44・6兆円超と過去最高を更新。さらに営業利益は08年度

の2・3倍に拡大し、年連続で最高額を記録した。対照的に、従業員1人あたりの賃金は1・1倍にとどまる。日NPバリバ証勢の好調も、河野龍太郎「エコノミストは『経済のグローバル化により、企業が好調でも平均的な労働者へへは利益が回りづらい構造になっている』と指摘。富裕層への課税強化など所得再分配機を高めめる必要がある」と主張した。

過去最高の内部留保の一方で賃金は伸び悩んでいます。賃金引き上げは生活向上につながる、否、あたな経済をなす役割もありません。職場改善、賃金引き上げを遠慮せず要求しましよ。

エミレーツ航空解雇争議
中労委で勝利命令必ず

組合員などの解雇は不当労働行為と認定した大阪府地方労働委員会命令を不服として、エミレーツ航空が中労委労働委員会（中労委）に再審査を申し立てていた事件は10月25日、和解協定が行われました。しかし、エミレーツ航空が頑なな態度でこの続行和解協議に進展がみられなかったことから、中労委はこのまま和解協議を継続するのは相当でないかと判断し、命令を出して準備を始めることを労使に伝えました。最短であれば次回調査で結審となることも明らかにしました。次回中労委は2月4日。中労委は、「それまでの間に当事者間で自主交渉は継続してほしい」と述べました。こうした状況を踏まえ、原告と「エミレーツ航空争議を支える会」は、中労委での勝利命令を勝ち取り争議の早期解決をめざすため、支える会の第3回総会を12月19日に大阪市内で開催します。東京都では、次回中労委委員に都内で集会を開催予定です。支える会は、「大阪地区在住の皆様には是非、第3回総会にご参加いただき、みなさん一緒に勝利命令を勝ち取り争議の早期解決を決意を固めたいと思います」と呼び掛けています。

**エミレーツ航空争議を支援する会
第3回総会のご案内**

日時 12月19日 18:30～20:00

場所 国労大阪会館（3階大会議室）
JR環状線「天満駅」下車、北側環状線沿い

みなさん
お誘い合って
ご参加ください!!



お問い合わせ先：航空連大阪地連内
06-6855-1823

けしぐむ

あつという間に目を迎えます。我が家も1月には皆さんのイベントがありました。ハロウィンジャンボ・ミニもまだなかったのに、今年9回目の九州旅行で散財してしまいました。長崎ラバー國では修学旅行がみんな持っている「福砂屋のカステラ」を探して大量買いしたり、導当てもない明子さんをさん購入したり、飛行機ではミッキーの魔法瓶などを意味なく買ったりしました。さらに11月は今年最大の高価な買物をしました。ほいこの

セ海抜ゼロメートルで橋のために坂道という地元のために、電動自転車は必需品といっても過言ではありません。最近はずりません。最近はずりませんが、あまりに最近のモデルでよく備っていたのですが、電動自転車の性能のすぐさまに衝動的に買ってしまっただけです。乗り心地はもうろん最高です。この感動はシャワートイレ以来でしょうか。掃除機やテレビの買い替えしはしばらくとこまきしょう。さあ、忙しい年末年始こそ来ています。働かぬば！

病氣は突然襲おそってくるのです。

ガン入院オコオコ日記

東海林 さだお 著



人生100年時代が
あなたに近づいている
感じがします。元氣な団
塊の世代も70歳代に突
入です。一方で、街
にはティサービスや高
齢者医療センターの車
両がものすごく目立ち
ます。高齢齢者が増え
るのですから、その差
も千差万別です。
元氣なスーパー老人
も増えています。ゴルフ
場など、平日は70く



80歳代の元氣な人たちであふれています。私も子供も育って、自由気ままな楽しい余生を夢見ているのですが、これまでのしがらみから抜け出せず、忙しく窮屈な毎日をこつこつと過しています。本屋のぞく、主人がジイサン、バアサン（失礼）の本がなかなかなありません。書き手もその年代だし、読み手もその年代だし、読ら、その傾向は強くなっていくでしょう。

本書の著者、東海林さだおさんも80歳超えています。日本人の

いすゞという「もうだめ」という不治の病ではなくなっている感があります。

わたしの周りにも、現在入人の友人がガンの治療しながら、和やかにルパを楽しんでいる。また、心筋梗塞で心臓の周りにステント治療など「俺は4本れてるぞ、2本くらいなんだ」などの会話を交わっています。本書は病院で入院生活実在リアルで心境・具事伝へてきます。あなたも数か月後突然こんな状態になくもしれません。倒れろになりながら働いていませんか？健康が一番です。